

～天津民話紀行～④

秘剣八幡神流 (谷川)



はつかさん

第27号

発行

天津地域振興協議会
総務企画部編集委員会

印刷

米子ワークホーム

『学び舎』はこれからの時代「児童育成」になくはならない。
時代の先読みと人徳に長けた谷川村相見家第十代相見益千賀は文久三(1863)年、近隣最初の『寺小屋』を自宅に開設し、武道に於いても多くの継承と誉れを現世に残している。

福田正八幡宮の宮司相見家には、昔から神道無念流の流れを汲む『八幡神流』と言う剣の秘技があった。文武両道で秀でた益千賀は奥義を極め剣技は優れていたが、持ち前のやさしさが小心を働かせるのか、いざという時に尻込みをする癖があった。これより相見家の伝承を紐解いて見ましよう。

初秋の候、車尾くるすもの深田邸で祝宴が開かれ、招かれた益千賀はめでたい酒を呑んでいたこともあって、帰路、杖添提灯つえぞえちゆうちんを片手に観音寺戸上山の麓の川土手を歩いていると、シトシトシトと後ろから足音が聞こえ人影が近づいてきた。この戸上山といえは、あの名高い戸上の藤内狐とうがみが棲んでいる。「出たなッ！」いつ狐が現れてもいい暗闇である。益千賀は振り返る一瞬八幡神流の極意技、下段から一閃斜め上段に切り上げ大袈裟に切り下ろしその黒い影を見事な太刀さばきで切り払った。突然の異変

にも瞬時に対応し手ごたえをつかむ。放り投げた杖添提灯は燃え上がり灯りが無い。

「見事仕留めた、これで戸上の化身狐に苦しめられることもあるまい」益千賀は藤内狐を退治できた喜びをかみしめ意気揚々と相見屋敷へと引き上げた。「一刀のもとの退治してきた。」家族や屋敷に詰め寄る者たちに自慢する益千賀。内心は現場を見てからでないと思われたいと思いつつ、若いに「戸上に参り確かめて参れ。」と命じ、若者は日野川と法勝寺川の合流する戸上山の麓に急ぐ、麓に着くと何処にも藤内狐の姿は無く、常夜灯付近を捜して見ると、草の中に切り落とした細身の地蔵の顔が転がっていた。

若者は狐を捜すのをあきらめ相見家に戻ることにした。「狐の姿は見当たりませんが、その代わり地蔵の顔が草むらに転がっておりました。」と報告すると、益千賀は鞘から刀剣を抜き出して見ると刀傷は残っていなかった。

石の地蔵を斬り落としても刀にひとつも傷をつけない剣さばきの見事さと、藤内狐とお地蔵さんを見間違えた益千賀の小心さに改めて家門一同感心したと言う。

おしまい

(作・画 野口 宣友)

店内は緑がたくさんです



外観はR 180号から良く見えます

あまつのお店紹介
庭の林の森の

はじめまして、『庭の林の森の』
といひます。

植物や苗、寄せ植え、植木鉢や
雑貨などをお売りする園芸雑貨店
です。2014年5月9日にオー
ンしました。

お店は清水川にあり、倉吉の古
い蔵を移築再生しました。赤い屋
根と土壁が特徴で、新180号線
からもよく見えるのではないで
しょうか。この場所は米子市内や
他方面からのアクセスがよく、ま
た景色がよいので決めました。

お店ではお庭の相談も承ってい
て、島根県や鳥取市でもお庭づく
りをしています。庭や植物を暮ら
しに取り入れてもらい、心地よく
毎日を過ごせるよう、様々なご提
案をしています。

(店主：前田 志穂理)

※現在、いろんな椿を楽しめる椿
展をしていますので、ご興味の
ある方はぜひお越しください。

3月6日(金)～

3月22日(日)まで



営業日

金・土・日・月

11時～17時

TEL 66-2760



ふるさと交流センター
利用団体の紹介

南部町

スポーツ少年団

テニスクラブ



テニス部は、平成十一年(旧西
伯)当時、県下で活躍中の吉村真
樹氏(境)を中心に三人の有志に
より発足しました。小・中学のジュ
ニアを育成し、高校、大学、社会
人になっても楽しめるスポーツと
してテニスを選択してくれる子を
育てること。そしていつの日か一
緒に、子ども達にテニスを教えて
くれるようになってくれたらと考
えております。

今までにスポ少でテニスを学ん
だ団員は百名をゆうに越え、後に
高校部活動で顕著な成績を残し
た、と聞く時が指導者としての一
番の喜びであります。

最近では週一の初級クラス(土
曜9時～12時)に加え、中国、全
国大会を目指す選手育成クラス
(火曜16時～18時)を設け練習に
励んでいます。小学生クラスは県
内では常に上位に入賞し、この春
山口で開催される中国大会では、
男子四名、女子一名が参加するこ
ととなっております。

これからも、保護者の方々の協
力を得ながら、楽しいテニスので
きるよう心がけて参りますので庇
援よろしく願ひします。

(指導者 井東)



清水川子ども会は現在三世帯、児童数四人（男子三人、女子一人）です。



六年生、四年生、三年生、一年生と学年はバラバラですが、仲の良い子ども達です。

子ども会としての行事は、近年は児童数が少ないため春に行う歓送迎会のみとなっています。

前回はボウリングに行き、保護者も一緒にプレイして楽しい会となりました。（親も盛り上がりたので残念ながら誰も写真を撮っていませんでした。）

子ども会の活動は少ないですが、運動会や夏祭り、文化祭など地区の行事や、清水川のイベントに子ども達も積極的に参加して、地域の方々との交流を深めています。

登下校の際、子どもたちが歩いていけると声をかけて下さったり、子どもたちが歩きやすいようにと通学路の雪かきを申し出て下さったりなど、地域の方々にはいつも様々な面でお世話になり大変感謝しております。

今後も地域の目で子ども達を温かく見守っていただけると嬉しく思います。

（清水川子ども会会長 森田 綾）



上阿賀の子ども会は、現在男子五人、女子十人で総勢十五人の元気あふれる賑やかな子ども会です。

主な行事は春の歓送迎会に始まり、夏のお楽しみ会、冬にはクリスマス会などがあります。内容を年度初めに子どもたちで話し合っている。今年度は、夏休みに



みんなで力を合わせて山車を引っ張るぞ～！

四年ぶりの公民館お泊まり会、冬にはボウリングへ行き、どちらも大変盛り上がりました。

他にも公民館清掃、祇園祭や天津地区運動会出し物練習など、集まる機会が多くあり、子ども達はみんなが集まることをとても楽しみにしています。

しかし残念ながら、現在をピークに今後しばらくは、子ども会の人数、家庭数が減少していきます。何とも寂しいかぎりです。将来、この子たちが大人になり、上阿賀子ども会が引き継がれ、大いに盛り上がりつつあることを願っています。

（上阿賀子ども会育成会長 秦 真知子）

活動紹介

食生活改善推進委員会 天津支部

食生活改善推進委員会天津支部は、現在十人ばかりです。

町の行事には、それぞれが参加し活動をしています。

昨年は、見守りボランティアとして中学校へ出かけて、家庭科の調理実習でリンゴの皮むきの指導や、大山おこわを子ども達と話しながら作り、楽しいひと時を過ごしました。

また、ラッキョウを使ったドレッシングを作り、中学生が喜んで食べてくれました。

天津支部の活動としては、毎年行われる文化祭で、各家庭のみそ汁の塩分測定や、インスタント製品に含まれる塩分量を目で分かるよう表示したり、簡単に出来る塩分の少ない惣菜を作って試食してもらって町民の方の声を聞いたりしています。

また、二月に行われた調理実習では、二〜三品の減塩料理を作っ
て、その後は試食をしながら、そ

れぞれの意見を出し合って親睦を
図りました。

近年、鳥取県は塩分の取り過ぎ
と言われているので、塩分につい
ては特に力を入れています。

食は毎日の事、興味をお持ちの
方は是非ご一緒に楽しみませ
んか？

(代表 仲田 豊実)



天津文化祭 健康コーナー

野菜をたくさん使った献立作成中



減塩料理をみんなで試食



編集後記

今年度発行の広報はつかずん最
終号の編集後記を任せましたが、
なかなか良い題材が見つからず頭
を悩ませました。そこで私の好き
な歌の歌詞の一部を紹介し編集後
記としたいと思います。

花は桜よ、漢(おとこ)の詩よ
想いよ果てしなく

花は桜よ、女の涙、千里を越えて
ゆけ

もうあでやかに儂く散る夢よ
帰りを待ちわびて祈っています

(ひとひらの花)

涙桜、溢れゆく想い
風よ運べ雲の彼方へ
せめて胸で咲き誇れ静かに
散ることのない永遠に続く愛よ

(涙桜)

あと少しで町内の桜も満開にな
り歌の歌詞にもあるように咲き誇
り、皆さんの目を楽しませ、心を
癒してくれることでしょう。



3月号担当委員

福田 貞明

土屋尾隆志

本田 靖

枝谷 麗

三好 正展